# 一

勝山高等学校　第１学年通信　　（ICHI）　第 24 号　平成 31 年　6 月 11 日

6/10(月)の７限目の「進路講演会」は、皆さんはどう感じましたか。講師の澤田先生は、２６歳とまだ若い方でしたが、所属企業がしっかりした会社だけあって、よく訓練されており、上手にお話してくださったと思います。講演のあとお聞きしたところ、先生は毎年 30～40 校で講演しているそうです。お世辞もあるかもしれませんが、たくさんの学校を見てきた先生が、「勝山高校の生徒さんの聞く態度は素晴らしいですね。」と言ってくださり、とてもうれしかったです。全員が完璧でしたというわけではありませんが、私も講演会中、君たちのメモを取りながら話を聞く様子やしっかり顔をあげて話しを聞く様子がいいなと感じていました。

さて、しっかり聞けたのですから、次は行動に移すときです。

「ポートフォリオ」を充実したものにするために、『今未来手帳』の記入を箇条書きや単語のみを避けて、文章で書き、1,2 年後にも理解できる記載にし、第 3 者に伝わる内容にするようにしていきましょう。

よりよい進路選択をするためには、待ちの姿勢で、ただ与えられた情報を鵜呑みにするだけでなく、自ら進んで情報を集め、それらを比較検討、取捨選択する力を身につけましょう。

10 年後、20 年後に AI に仕事を奪われ途方にくれるのではなく、AI を使いこなせる能力や君（人間）だからこそできるスペシャリストの技を身につけるために学びを継続していきましょう。

失敗することは当然あります。しかし失敗を恐れず、一歩一歩前に進んでください。何もせず、言い訳や講釈ばかりたれるのではなく、いいと思ったこと、いいと言われたことをまずやってみる人になってください。

**【頑張る勝高生シリーズ　その 8】**

第 66 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト福井県大会の「朗読部門」で 3 年生の中村君が優秀賞を受賞し、7 月に東京で開催される全国大会に 2 年連続で出場が決まりました。全国でも頑張って欲しいですね。